

「子ども食堂」へ、おもちゃ・調理器具などを寄付いたしました

広島トヨペットは、コーポレートスローガン「HIROSHIMA+」の一環として、国連の提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、ひろしまの「ひとに」「まちに」「なかまに」という3つのテーマを掲げて、より良い社会の実現に積極的に取り組んでおります。

そのテーマに基づき、1月11日(火)にメインバンクである中国銀行の「SDGs 私募債※」制度を活用し地域の子ども食堂（うしな子ども食堂様、こいこい食堂様）へおもちゃ、調理器具、商品券などを2社の連名にて寄贈いたしました。

今回の寄贈については、霞店リニューアルに際し、本制度を活用したものになります。地域への恩返しを検討した結果、店舗が位置する広島市南区でこどものコミュニティづくりに尽力されている2つの子ども食堂に、寄付させて頂く運びとなりました。

子ども食堂は単にお子様に「食事を提供する」だけではなく、食事を通して「こども同士」もしくは「子育て世代の親御さん同士」の重要なコミュニティとなっております。

弊社としても、地域の人が集い、つながるコミュニティづくりは非常に大切にしており、このような取り組みを通して、店舗を中心とした「幸せの量産」に取り組んで参ります。



《霞店での寄贈式の様子》

寄贈内容は子ども食堂様のご要望に最大限応えたいという想いから、おもちゃ、エプロン、調理器具等 11 品目を寄贈させて頂きました。



《スピーチされる食堂様》

それぞれの食堂では月1回程度開催しており、20~50名の参加者が集まるとのことでした。



《店舗見学の様子》

弊社古谷より、子ども食堂の参加者向けに「キッズエンジニア（店舗でのエンジニア体験）」をご紹介します。

※「SDGs 私募債」とは、金融機関が私募債発行企業から得る手数料の一部で備品などを購入し、私募債発行企業が指定するSDGsに関連する団体等へ、発行企業と連名にて寄贈する制度です。